

・パフォーマンスステータス(Performance Status：PS)

全身状態の指摘の一つで、患者さんの日常生活の制限の程度を示します。

0：全く問題なく活動できる。発症前と同じ日常生活が制限なく行える。

1：肉体的に激しい活動は制限されるが、歩行可能で、軽作業や座っての作業は行う事ができる。例：軽い家事、事務作業

2：歩行可能で、自分の身の回りの事は全て可能だが、作業はできない。日中の 50%以上はベッド外で過ごす。

3：限られた自分の身の回りの事しかできない。日中の 50%以上をベッドか椅子で過ごす。

4：全く動けない。自分の身の回りの事は全くできない。完全にベッドか椅子で過ごす。

以上は ECOG(米国の腫瘍学の団体の 1 つ)が決めた、Performance Status(PS)の日本臨床腫瘍グループ (JCOG) による日本語訳です。この基準は全身状態の指標であり、病気による局所症状で活動性が制限されている場合には、臨床的に判断する事になっています。

(参照) 2015 国立研究開発法人 国立がん研究センター がん対策情報センター

・有害事象共通用語基準

(Common Terminology Criteria for Adverse Events：CTCAE)

CTCAE とは世界共通で使用される事を意図して作成された有害事象に関する評価基準です。有害事象 (AE)の重症度を Grade0(正常)～5(死亡)と定義し、各有害事象の重症度の説明を個別に記載しています。(※全ての AE が全ての Grade を含むわけではなく、一部の AE では Grade の選択肢が 5 種類未満となっています。)

CTCAE を用いる事で、発生した有害事象の重症度を評価する事ができます。それを元にすぐに薬剤師の介入が必要なのか、経過観察で良いのか等の判断材料の 1 つとする事ができます。(※CTCAEv5.0-JCOG =有害事象共通用語基準 v5.0 日本語訳 JOCG 版)

(参照) 愛媛大学医学部付属病院 薬剤部 薬品情報管理室 HP